

## ACCESS



### ■交通のご案内

#### 《車でご来館の場合》

東名阪自動車道 桑名ICより約10分

伊勢湾岸自動車道 湾岸桑名ICより約10分

#### 《公共交通機関でご来館の場合》

JR・近鉄・養老鉄道「桑名」駅、三岐鉄道北勢線「西桑名」駅より徒歩20分

三交バス「桑名市博物館」バス停車すぐ

■開館時間／9:30～17:00(入館は16:30まで)

■休館日／毎週月曜日(但し月曜が祝日の場合は開館)  
祝日の翌日、展示替え期間

■入館料／高校生以上有料

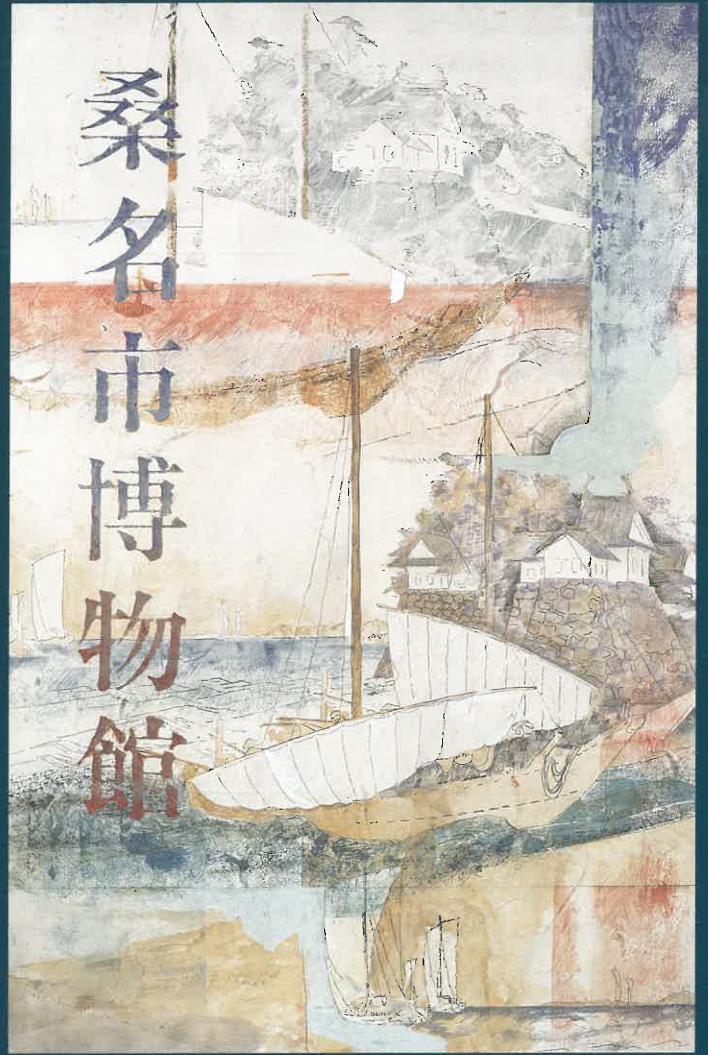
■駐車場／20台(無料)



E-mailは  
QRコードから↑

## 桑名市博物館

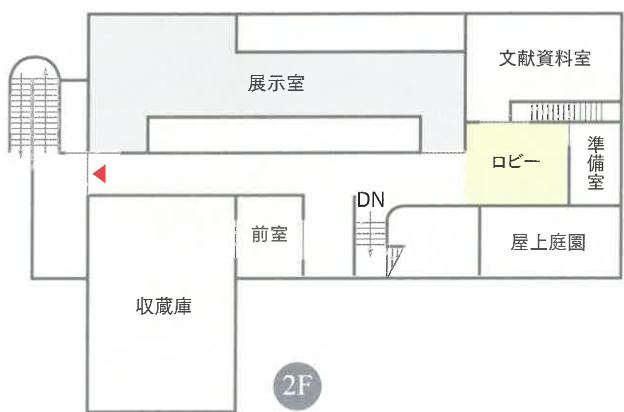
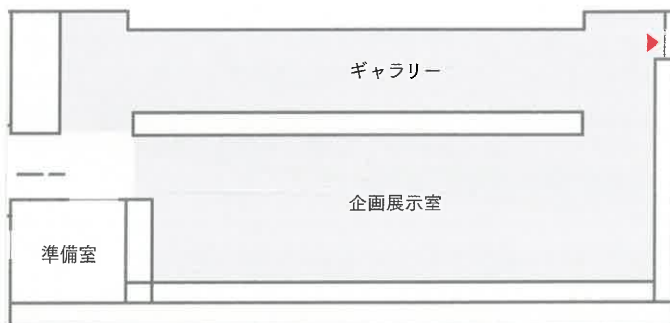
〒511-0039 三重県桑名市京町37-1  
TEL 0594-21-3171 FAX 0594-21-3173  
E-mail : hakubutum@city.kuwana.lg.jp



絵：岩田政巳

# KUWANA CITY MUSEUM

FLOOR GUIDE



設計/榎野村設計 名古屋支店  
 監理/桑名市役所建設部建築課  
 施工/清水建設(株) 名古屋支店  
 電気/近畿工業(株) 四日市営業所  
 空調/かき藤空調(株)  
 給水/榎森下水道商会  
 汚水/榎日本建材商会  
 工事費/230,538,000円  
 敷地面積/1,437.9㎡(駐車場476.1㎡含)  
 建築面積/781.3㎡  
 延床面積/1,066.9㎡  
 構造/鉄筋コンクリート造 一部2階建  
 設備/防火設備(ハロンガス)、  
 防犯システム(監視カメラ、盗難防止)  
 調光設備、空調、空気清浄機、放送設備  
 竣工/昭和59年(1984)10月31日  
 開館/昭和60年(1985)10月1日

延床面積	1,066.9㎡(1階 711.6㎡ 2階 355.3㎡)
収蔵庫	1階収蔵庫 27.1㎡ 2階収蔵庫 91.2㎡(含前室)
展示室	企画展示室 189.6㎡ ギャラリー 127.5㎡ 2階展示室 128.3㎡ 準備室他 40.4㎡
研修室	文献資料室他 39.6㎡
管理	荷解室 35.8㎡ 事務室他 129.5㎡
共用他	ロビー・ホール等 257.9㎡



企画展示室

**沿革** 市民の方々の寄贈を基に、三重県下初の市立美術館として、「桑名市立文化美術館」が、旧百五銀行桑名支店を買収し、昭和46年（1971）2月に開館しました。その後、収蔵品の増加と建物の老朽化により、昭和58年（1983）12月から翌年10月まで増改築の工事が行われ、1年間の乾燥期間を経て、昭和60年（1985）10月1日に三重県下最初の市立博物館として再スタートしました。

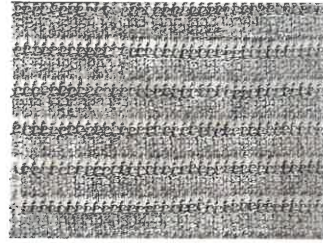
施設としては、1階に特別展や企画展を開催する企画展示室とギャラリーを設け、2階には日本初の試みとして壁取付型エアタイトケースを有する展示室と、文献資料室があります。収蔵庫は、工芸品を主とする室と軸装や屏風などを収納する室とに分かれています。

収蔵品の殆どは、篤志家からの寄贈によるもので、松平定信や桑名藩関係資料、古萬古及び萬古作品、茶道具、郷土ゆかりの洋画家の作品など多方面にわたっています。

KUWANA  
CITY  
MUSEUM

主なコレクション

書跡



【重要美術品】  
徳川家康《日課念仏》慶長17年(1612)



松平定敬《風来水面時》江戸時代末～明治時代

絵画



歌川広重  
《保永堂版 東海道五拾三次之内  
桑名七里渡口》天保4-5年(1833-1834)



横山大観  
《不二靈峰》  
昭和時代



谷文晁《画賛 三勇士》文政十一年(八二八)



帆山花乃舎《源氏物語屏風》江戸時代末期～明治時代 松平子爵家旧蔵

工

楽

萬

刀

《短刀



工芸



樂了入《黒楽茶碗》文政9年(1826)



《紫色ちろり》江戸時代

萬古焼



【桑名市指定文化財】  
《古萬古 赤絵人物文水盤》  
江戸時代中期

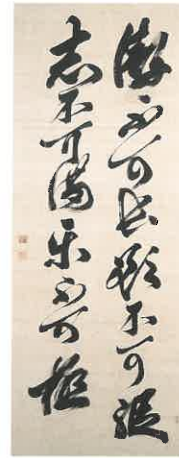


《有節萬古 腥臙脂釉龍文盃洗》  
文久2年(1862)



【桑名市指定文化財】  
《古萬古 オランダ写手焙》  
江戸時代中期

松平定信



松平定信《二行書》文政八年(一八二五)



松平定信《朱達磨》江戸時代

民俗



《電気治療器(エレキテル)》江戸時代後期

考古



【三重県指定文化財】  
《柚井遺跡出土資料 木簡》  
平安時代

刀劍



《短刀 銘 村正》室町時代

桑名藩



【三重県指定文化財】  
《桑名日記・柏崎日記》  
天保10年-嘉永元年(1839-1848)



頼山陽・松平定信  
《日本外史稿本 付別冊》  
文政10-11年(1827-1828)